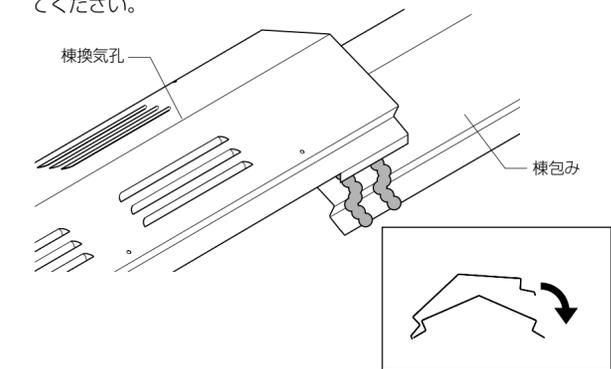




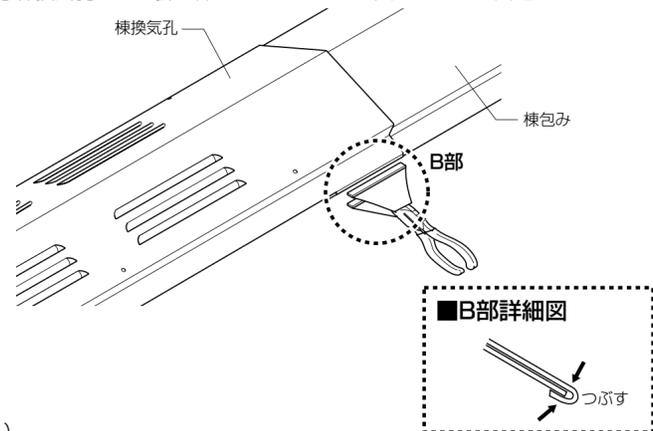
トステム株式会社

躯体内換気部材 棟換気孔 (S型) 施工説明書

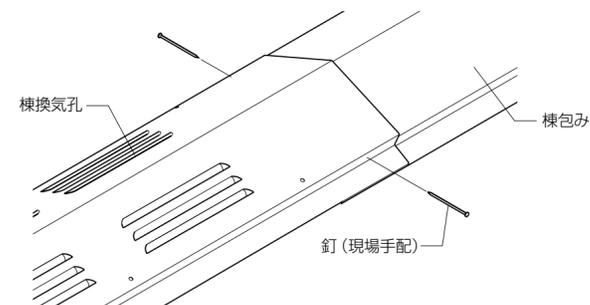
③棟換気孔側のはぜ折り部を棟包みに片側ずつ引っ掛けながらかぶせてください。



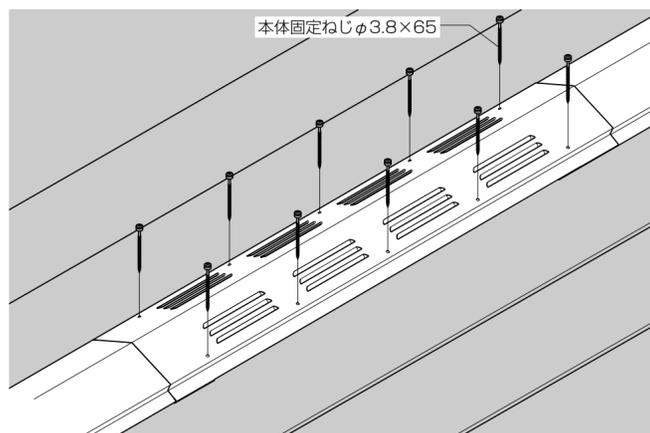
④棟換気孔のはぜ折り部をつかみなどの工具でカシメて固定してください。



⑤棟換気孔と棟包みの重なり部分に側面から釘 (現地手配) で固定してください。



⑥瓦割れ防止のため、あらかじめドリル (φ2) で下穴を開けてから本体固定ねじ (φ3.8×65) で固定してください。

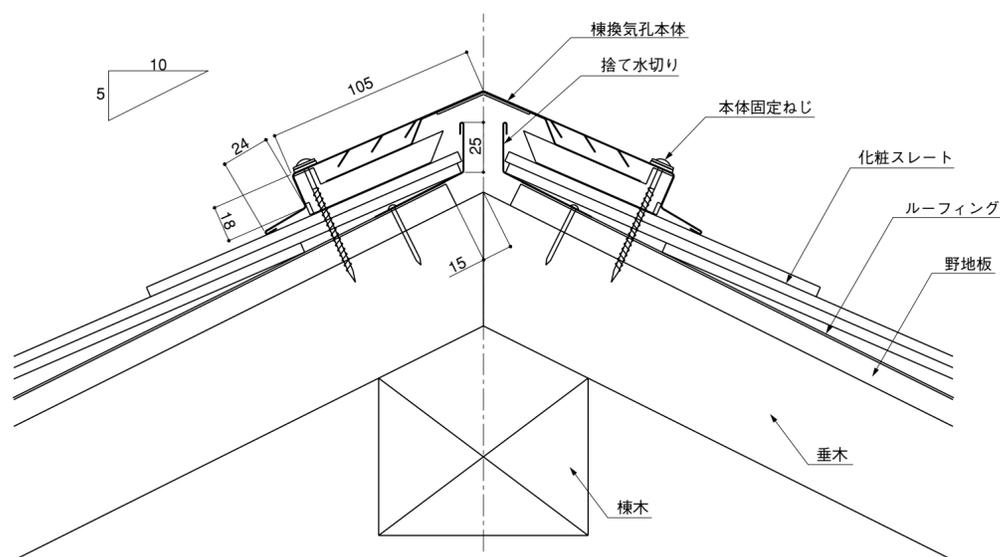


▲注意

※ねじの締付けについて

- ねじ頭と鋼板との高さが2mm程度を目安として取付けてください。(パッキンがねじ頭から多少はみ出す程度)

棟換気孔S型納まり図



●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。※内はロットNo.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 強風や悪天候時は作業を行わないでください。思わぬケガにつながるおそれがあります。
 - 板金切欠き部や鋭利な端面を扱う際には保護具を着用してください。板金の鋭利な部分で手を切るおそれがあります。
 - 棟換気孔を切断しないでください。割付け調整の切断は棟包みで行ってください。
 - 笠木や棟換気孔を固定する際、必ずあらかじめドリル (φ2) にて下穴を開けてから止めてください。瓦の割れが起きるおそれがあります。
- ※雨漏りの原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 取付け可能な屋根勾配は、16.7~45° (3寸~10寸) です。

■タイプ別屋根勾配表

タイプ	A・Eタイプ	B・Fタイプ	C・Gタイプ	D・Hタイプ
屋根勾配	21.8~31° (4~6寸)	16.7~21.8° (3~4寸)	31~42° (6~9寸)	42~45° (9~10寸)

- 本文中のシーリング指示箇所にはコーキング材を充てんし、防水処理を行ってください。
- 棟換気孔の上に座ったり、踏みつけたりしないでください。
- 棟換気孔を分解しないでください。組直したりしても、部品などがズレてしまいます。
- 必ず同梱の固定ねじ、釘を使用してください。
- 施工完了後アンテナなどを設置する場合は、ねじや釘などで棟換気孔に打ちつけないでください。
- 棟換気孔と棟包みとの重ね代は、80mm以上 (棟換気孔同士の重ね代は100mm) 取ってください。
- 固定ねじは、ねじ頭と鋼板との高さが2mm程度を目安として取付けてください。

■施工上のお願い

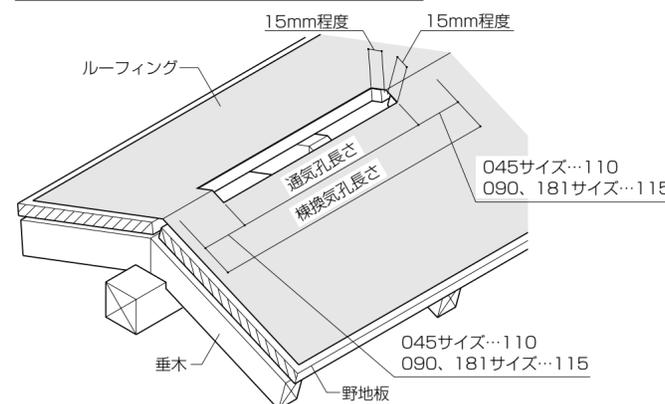
- 屋根棟水平部に取付けます。
- 本製品は化粧スレート用です。
- 積雪30cm以上の地域では使用できません。
- 後工事をする場合は、必ず養生してください。ホコリなどにより通気機能が損なわれます。
- 屋根材の厚みは5mm以上のものをお使いください。換気面積が確保できなくなります。

■施工順序

1 開口部の製作

①野地板の棟部に下表を参考に電動ノコギリなどで通気孔を設けてください。②ルーフィングを張付けた後、棟部の野地板切欠き部に合わせてカッターナイフなどで通気孔の大きさに切り取ります。

呼称寸法	棟換気孔長さ	通気孔長さ
045	645mm	425mm
090	1090mm	860mm
181	1980mm	1750mm

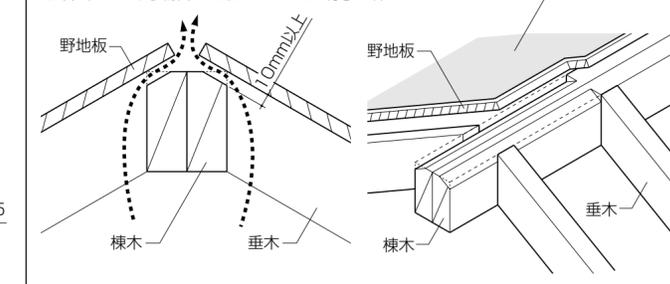


■使用部品一覧表

捨て水切り	スクリュー釘φ2.1×32	本体固定ねじ (パッキン付) φ3.8×65

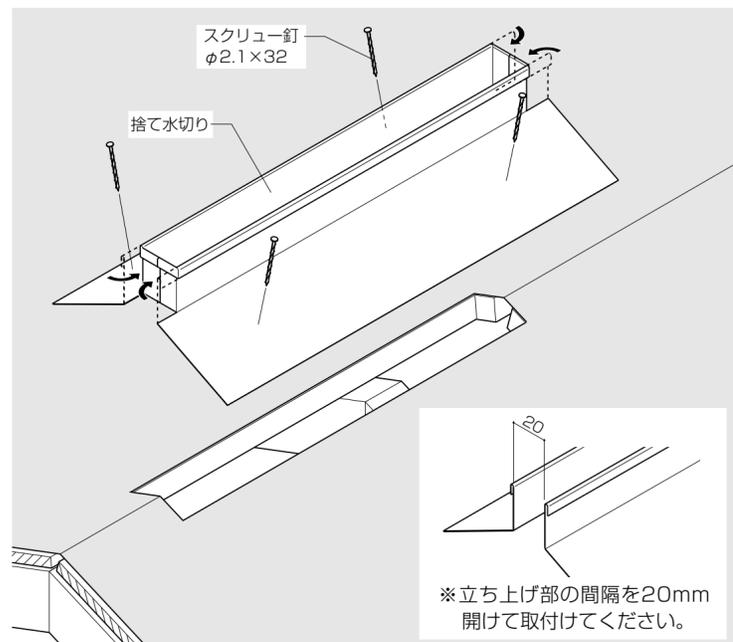
■枠組壁工法 (2×4工法) の場合

●棟木の上両端部を切欠いて通気孔を作ります。

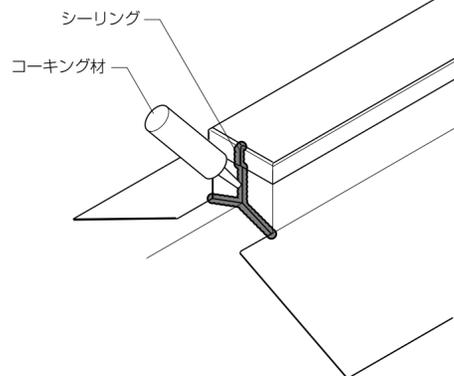


2 捨て水切りの取付け

①野地板の開口部に合わせて捨て水切りの両端を折曲げた後、スクリュー釘で取付けてください。



②捨て水切りの端部を下記の通りシーリング処理してください。



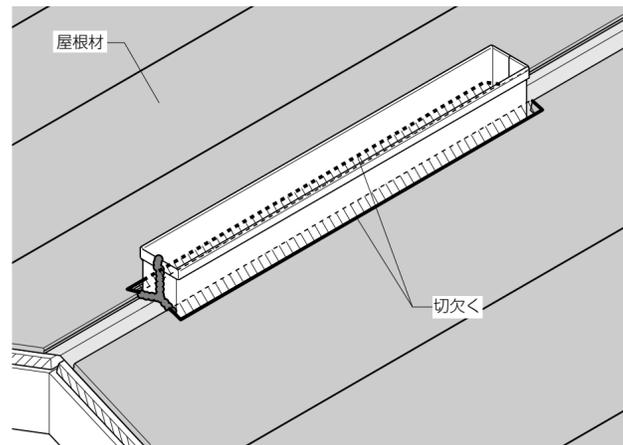
▲ 注意

- コーキング材はシリコン系のもをご使用ください。
- シーリング処理は水切り端部の重ね合わせ面および屋根との接地面まで充分に行ってください。

※立ち上げ部の間隔を20mm開けて取付けてください。

3 屋根材の施工

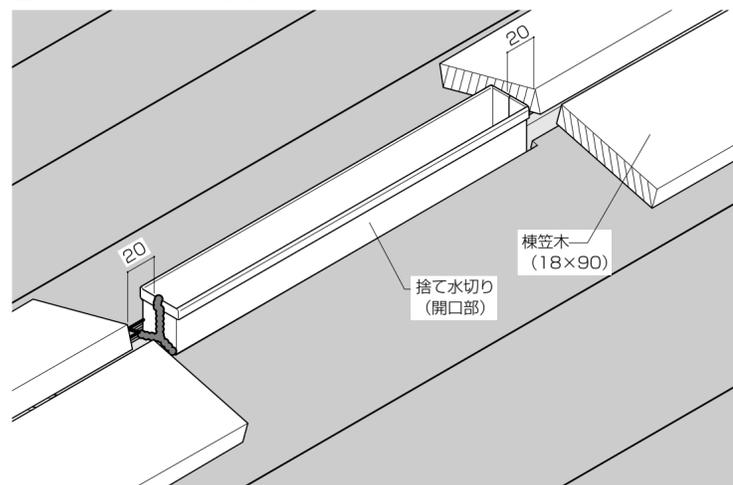
●屋根材は従来の施工方法でおこない、換気孔部は捨て水切りに合わせて切欠いてください。



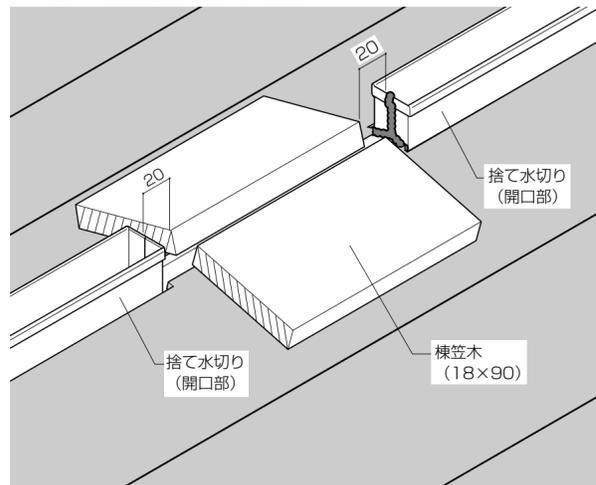
4 棟笠木と棟包みの取付け

①棟笠木を下図の通り取付けてください。

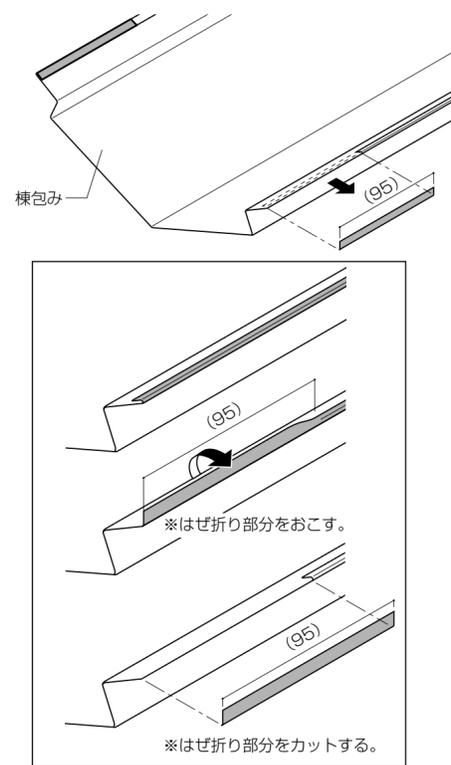
■棟換気1本使用の場合



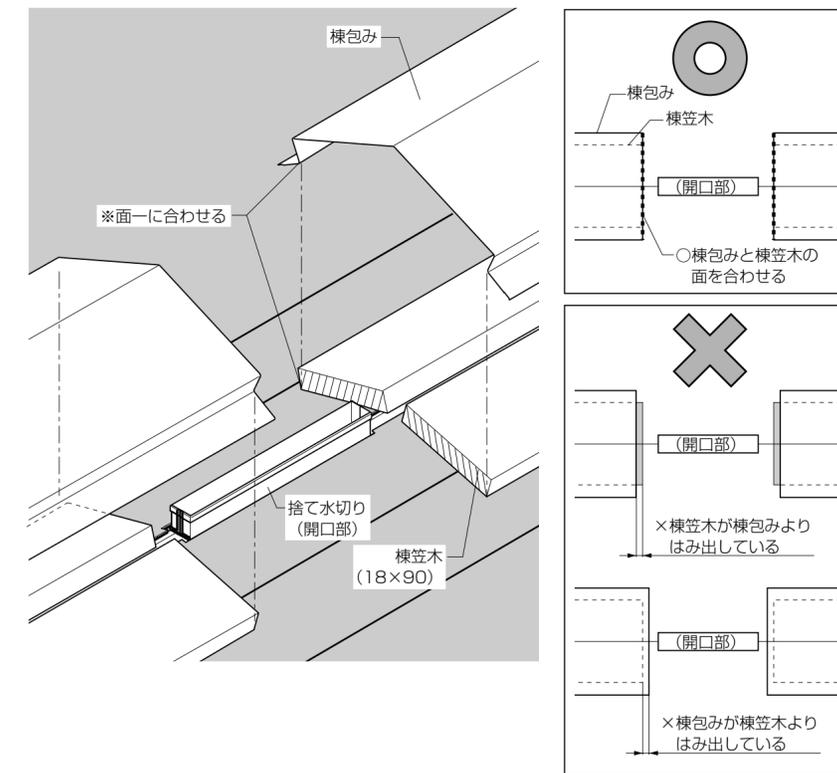
■棟換気連続使用の場合



②棟換気孔を取付ける側の棟包み端部はぜ折り部分を下図の通りに切欠いてください。

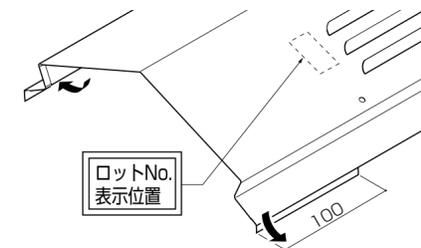


③棟包みを棟笠木の端部にそろえて取付けてください。(両側)

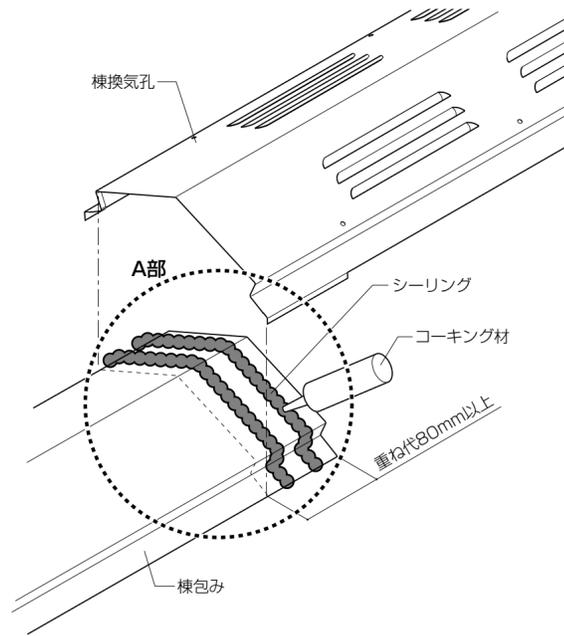


5 棟換気孔の取付け

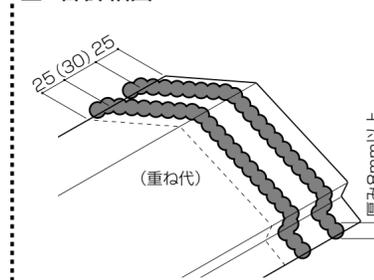
①棟換気孔のはぜ折り部を下図の通り、ペンチなどで起こしてください。



②棟換気孔と棟包みおよび棟換気孔同士の重ね代には下図の通り2重シーリング処理を必ず行ってください。



■A部詳細図



▲ 注意

- コーキング材は厚さ8mm以上充てんしてください。特にコーナー部でコーキング材が薄くならないように注意してください。

▲ 注意

- 棟換気孔と棟包みとの重ね代が80mm以上となるよう設置してください。(連続使用の場合は、棟換気孔同士の重ね代を100mm取ってください。)

